



城端線：城端ー越中山田 砺波平野に立つ一本桜とキハ

桜舞う鉄路の物語

会員 五反 章裕 (63期)

城端線は、高岡を出て砺波平野を縦断して城端に向かう、単線非電化のローカル線だ。

城端は、世界遺産の合掌造りで有名な五箇山、白川郷への中継地で、ここから急峻で深い山々に分け入って行く。

「ピーン」と張り詰めた空気に包まれた春の早朝。

タラコ色の3連ディーゼルカーが、朝日に照らされてトコトコとやってくる。

青空をバックに、満開前の濃いピンク色の桜が、

風景に優しさを与えてくれました。

桜舞う鉄路の物語…。